



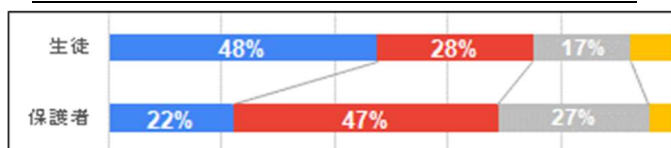
第2回学校生活生徒アンケート&保護者アンケートより

2学期末の学校生活アンケートへの御協力ありがとうございました。その結果を報告させていただきます。今回も生徒との回答の比較や保護者独自の質問の回答について顕著な表れが見られた項目について示してあります。

当てはまる
 どちらかと言えば当てはまる
 どちらかと言えば当てはまらない
 当てはまらない

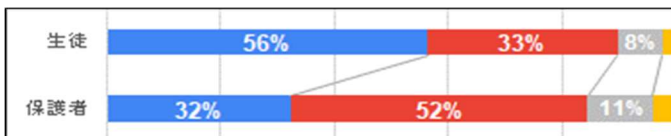
【将来の夢や希望がある(生徒)】

【子どもは日頃から将来の夢や希望を考えている(保護者)】



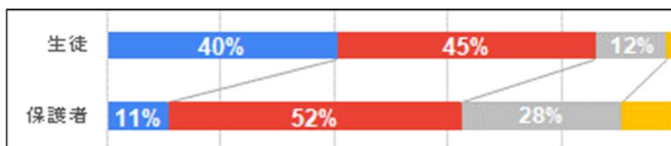
1学期より肯定的に回答した割合が少しですが生徒、保護者ともに下がっています。学校でも将来について考える機会を積極的に設けていきます。学園の教育目標である「夢や希望を見出し、未来をひらく子ども」を実現できるように、学校と家庭、地域が一体となりながら教育活動の充実に努めていきたいと思えます。

【学校が楽しいと感じている】



肯定的に回答した割合が、生徒が89%、保護者が84%と、1学期同様、高い数値となっています。また、保護者が肯定的に回答した割合が1学期よりも上昇しています。学校では一人一人の自立を促し、誰一人取り残さない、全ての生徒の主体性を伸ばす楽しい学校を目指していきます。

【授業がよく分かると感じている】



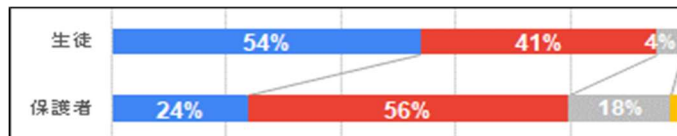
1学期より生徒が肯定的に回答した割合が5%下がりました。また、生徒と保護者の肯定群の開きが1学期同様、顕著に見られます。御家庭でもお子さんから授業の様子を聞いたり、家庭学習の様子を御覧になったりしていただきたいと思えます。また、次年度に向けて、1年間のまとめをしっかりと行ってほしいです。学習の様子で気になることや心配なことがありましたら学校まで御相談ください。家庭と学校が連携してより効果的にお子さんの学力向上に努めて参りたいと思えます。

【家の人と将来のこと(夢や希望)について話すことがある】



肯定的に回答した保護者は1学期より上がりましたが、生徒は下がっています。そして、生徒と保護者では14%の開きが見られました。今後も引き続き、お子さんの思いに耳を傾け、より前向きな気持ちになっていくようによろしく願います。

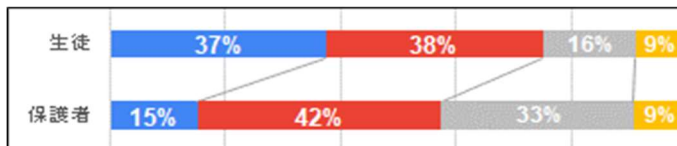
【自ら考え、実行しながら生活をしようとしている】



肯定的に回答した生徒の割合が、生徒が95%、保護者が80%と、1学期同様高くなっています。一方、保護者の肯定的回答率が1学期よりやや上昇はしましたが、生徒と保護者との肯定群の開きから、もう少し自ら考え生活してほしいという思いがあることも結果から見えてきました。今後も引き続き生徒の自己指導能力が高まるように努めています。

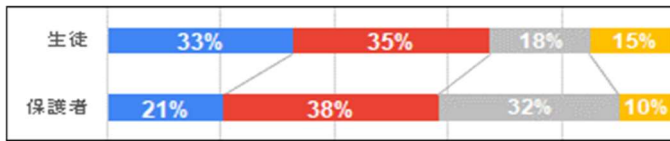
【学習を毎日1時間以上行っている(生徒)】

【子どもは家庭学習に主体的に取り組んでいる(保護者)】



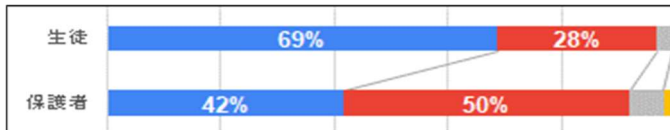
1学期より生徒が肯定的に回答した割合が8%と大きく上昇しました。家庭学習の時間が少ないことは、ここ数年の周南中生の課題でしたが改善傾向が見られます。定期テスト前だけではなく、毎日1時間以上の家庭学習を習慣付け、授業で学んだことを確実に定着させてほしいです。また宿題だけではなく自分にとってプラスとなる充実した家庭学習にしてほしいと思えます。「授業がよく分かる」ようになることで「学校がさらに楽しい」と感じられるようになります。

【テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めている】



昨年度同時期より肯定的に回答した生徒の割合が8%と大きく上昇しました。また1学期より生徒、保護者ともに肯定群の割合も上昇しています。この結果から、ルールを決める家庭が少しずつ浸透していることが分かります。今後も各家庭でお子さんと一緒にルールを決め、家庭学習を更に充実させてほしいと思います。

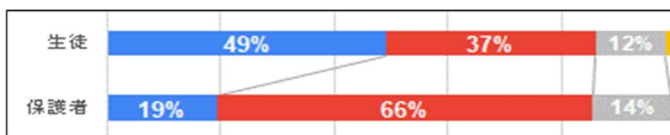
【家族や周りの人に伝わる挨拶や感謝の言葉を使うことができている】



1学期同様、生徒、保護者ともに肯定的に回答した割合が90%を超えています。挨拶はより良い人間関係を築くための入り口であり、相手を敬う表現の一つです。また「ありがとう」の言葉を使うことは、相手のためであることはもちろんのこと、自分自身の心を耕すためでもあります。15歳は義務教育の出口と言われます。社会人として通用する人になるように、挨拶と感謝の言葉を自然に使える人になってほしいと思います。

【登下校中に地震が起こった時の避難方法を知っている(生徒)】

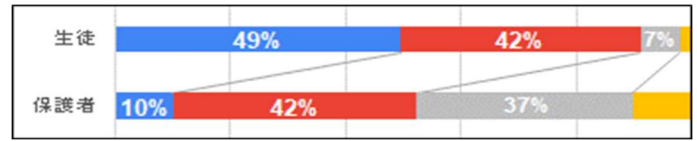
【お子さんは地震などの災害発生時どのような行動をとらなければならないか理解している(保護者)】



肯定的に回答した割合がおよそ8割と高くなっています。そして、1学期よりも生徒の肯定群が3%下がりましたが、保護者の肯定群は4%上がりました。保護者の意識が高くなっていることが分かります。ここ数年、周南中学区では土砂災害や河川氾濫などの災害が起きています。いつ起こるか分からない想定外の災害に備え、様々なシミュレーションをしながら、御家庭でも防災について話題にしてほしいと思います。中学生は地域防災の担い手となる頼りになる存在です。学校でも主体的に行動できる力が身に付くように防災に関わる活動を意図的に行っていきます。

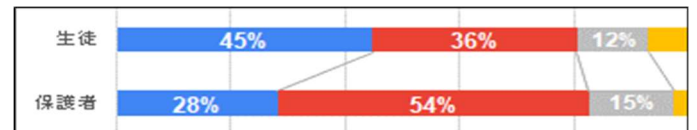
【よりよい学校や学級になるために、自分にできることを見つけ取り組む(生徒)】

【子どもは地域で自発的、自立的に活動していると思う(保護者)】



学校や学級のために自分のできることを見つけて取り組むと肯定的に回答した生徒が1学期同様90%を超えました。集団のために力を発揮しようと思う生徒が多く、これからの社会を担う周南中生を大変頼もしく感じます。コロナ禍で様々な活動に制約がありますが、今後もこの力を地域にも発揮してくれることを願います。

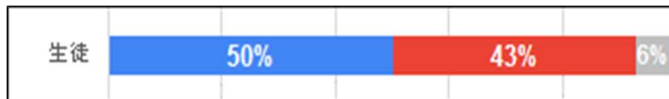
【学校に信頼できる先生がいる】



肯定的に回答した割合が、昨年度同時期と比べて生徒は2%、保護者は5%上昇しています。これからも生徒一人一人に寄り添いながら、生徒の良さを認め、個性を伸ばす指導に努めていきます。そして、学校の職員が生徒にとって身近な生涯学習のモデルとなるように心掛けていきます。

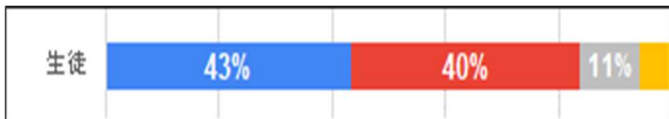


【授業に主体的に取り組んでいる】



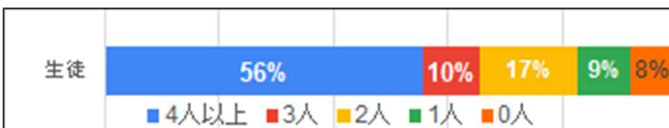
授業に主体的に取り組んでいると肯定的に回答した生徒が、1学期同様90%を超えました。周南中学生は授業にも主体性が発揮されて頑張っていることが分かります。自分事として授業に臨むことにより、生徒の中から問いが生まれ、解決していきたいと思える授業づくりを進めていきます。

【自分にはよいところがある】



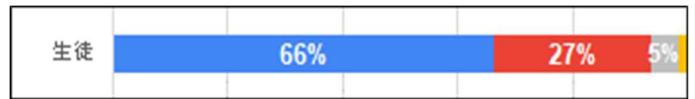
肯定的に回答した生徒の割合が1学期同様80%を超えました。自立した学習者になるためには「自分ならできる」という高い自己肯定感が必要になります。生徒の良さや粘り強く頑張る課程に目を向け、機を逃さない承認、賞賛を心掛けていきたいです。御家庭でも前向きな声掛けをお願いします。

【困ったときに学校で相談できる人数】



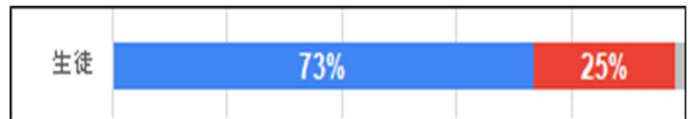
困ったときに相談相手が学校に複数いると答えた生徒が80%を超えました。一方で、誰も学校に相談相手がいないと答えた生徒が8%もいます。誰にとっても困ったとき相談しやすい雰囲気づくりや、一人一人に寄り添う支援を行っていききたいと思います。

【みんなで何かをするのは楽しい】



肯定的に回答した生徒の割合が93%と非常に高くなっています。中学校では今後も、みんなと関わりをもちながら同じ目標に向かって取り組む経験を通して、成長していけるように支援していきます。

【交通マナーや交通ルールを守っている】



全体的に交通ルールに対する意識は高いですが、1学期同様、地域から心配の声が数件寄せられています。大きな事故やけがを未然に防ぐために決められた通学路で登下校できるように徹底していきます。また、自転車は軽車両として法的な責任が課せられることも御家庭でお話ください。

【子どもがインターネットやSNSで、どのような使い方をしているか保護者として把握している】



肯定的に回答した保護者が1学期より6%下がりました。授業や家庭学習の一人一台端末や、スマートフォンの普及など、私たちの生活には欠かせないものになっています。一方、インターネットやSNSの間違った使い方をすることのトラブルも決して少ないとはいえません。また、スマートフォンの使用時間が学力に影響することも問題視されています。思春期である中学生は一人の大人として扱われたい一方、判断力が未熟な面もあります。学校では情報モラル教育を充実させていきます。御家庭では使い方について見守りをお願いします。

保護者アンケートへの御協力ありがとうございました。アンケートでいただいた御意見を参考に、今後も周南中学校の教育が充実するよう職員一丸となって教育活動に取り組んでいきます。今後も御協力をよろしくお願い申し上げます。

周南中学校ホームページに生徒の活動の様子をたくさん紹介しています。是非御覧ください。

